

2023年5月1日

うるまYA!  
今回の  
おすすめ  
メニュー

はいろ はたけ みどり はたけ  
『灰色の畑と緑の畑』

ウルズラ・ヴェルフエル || 作

のむら ひろし やく  
野村 滋 || 訳

いわなみしよてん いわなみしようねんぶん こ  
岩波書店(岩波少年文庫2093)

しょぞうかん ちゅうおうかん せいぎゅう きごう じどろしよ  
所蔵館 中央館 請求記号 児童書943へ

ちょっとあじみ

この本には14のとても短いお話があつめられています。それぞれのお話につながりはありませんが、どれも、こどものことや、こどもをとりまく世の中のことについて書かれています。お金持ちの家のこどもとまずしい家のこどものこと、戦争の中でくらしているこどものこと、お父さんとお母さんの仲がよくないこどものこと、障がいのあるこどものこと、お酒ばかり飲んでこどものめんどうをみられないお母さんのことや、こどもたちとなかよくなりたかったおばあさんのこと。どのお話も読み終わったあと、「おもしろかった」とか「よかったな」と感じる終わりかたではなく、「どうしてなんだろう」「どうしたらいいんだろう」という気持ちになるお話です。作者のウルズラ・ヴェルフエルは1922年のドイツ生まれ。この本が西ドイツで出されたのは1970年ですが、この中に書かれていることは、いま世界のあちこちで、そして、わたしたちのちかくでおきていることに、似ています。

NO IMAGE